

重要なお知らせ（8/3 現在）

次ページのような文書をお渡しさせて頂く準備をしている最中、7/30、体調不良を訴えられた入居者様1名に対し、抗原定性検査を実施したところ、陽性反応が確認されました。すぐに、嘱託医へ連絡し、新型コロナウイルス発生届を提出、大阪府、茨木保健所、島本町へ報告、連絡、相談をしております。

（発覚当日の対応）

個人防護具を身につけ（N95 マスク等）1時間から2時間に1回、バイタル測定を行い、水分補給を促すなどの対応を実施。その間、保健所との連絡を取り合い、助言への対応実施。

（経緯、考えられる要因）

7/26日、3日に1回の抗原検査にて、出勤前の看護師1名より、陽性が確認され、その時点で退勤、翌日より自宅療養の対応としております。その職員につきましては、7/25日に、1名の食事介助を含め、処置などで15名ほど関わっておりました。（陽性の方との接触なし）マスクの着用を含め、感染予防対策を講じておりましたが、現時点で考えられる要因と致しましては、そういった関わりの中で、何らかの形で媒介してしまった事が推測されます。

尚、入居者1名の陽性者につきましては、個室でお過ごしの方という事、大きな声でお話される方ではない為、飛沫感染の可能性は低いと考えておりますが、前日、2階ケア室前で数名の入居者と接触、食堂の席で3名の方と接触、浴室で10名の方と接触しておりました。

（お二人目の陽性確認）

8/1日、お昼過ぎ、入居者様1名に発熱あり、抗原検査で陰性を確認。解熱剤を服薬頂くも、8/2日の朝も発熱あり、再度、抗原検査を実施したところ、陽性が確認されました。

この方については、最初に陽性が確認された入居者と、浴室待機場の同じ空間でお過ごしになられていた方であり、そこで感染した可能性が考えられます。

◇現時点では、幸いにも、お二方とも、解熱傾向であり、重篤な状態ではありません。

お食事も召し上がっておられ、会話も可能な状態となっております。

※お二方とも、特例承認の治療薬“ラゲブリオ”を服薬頂いております。

●お二人目の感染を確認した為、昨日より、添付写真の通り、ゾーニングを行っております。

これまでの経緯を辿ると、接触後4~5日を過ぎた頃に発症しており、この先、どこまで感染拡大となるのか、お二方でおさまるのか、正直、分かりません。とにかく今は、色々な入居者様同士が交わる事が最大の感染要因となりうる事を踏まえ、可能な範囲で居室にてお過ごし頂く事と致しました。（お部屋替え含む）入浴は中止し、清拭対応とさせて頂いております。

多大なるご心配をお掛けし、誠に申し訳ございません。感染拡大防止に、最大限、努めて参りますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※ご面会については、当面の間、中止させて頂きますようお願い申し上げます。



レッド
ゾーン



グリーン
ゾーン

裏面もご覧ください。

※長文をお許してください。

入居者ご家族、後見人の皆様へお知らせとお願い

猛暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。新型コロナウイルスにつきましては、新たな BA.5、BA.2.75 への置き換わりが急速に始まっており、安心出来るどころか、日々、不安が増すばかりです。

「皆様の周辺では、どのような状況ですか？」

このお手紙も、今や、コロナ情報発信機関紙のようになってきているように感じており、何とも複雑な心境です。弥栄の郷全体を取り巻く環境（在宅サービスご利用者や、そのご家族、近隣のサービス事業所、職員、及び職員の家族）においても、抗原検査やPCR検査で陽性者が確認されるなど、弥栄の郷への侵入もすぐそこまで来ており、毎日が見えない敵との戦いとなっております。

【今回、同封されているもの】

・ 預り金報告書 ・ 徴収金内訳 ・ 利用料請求書兼領収書 ・ その他、入居者様毎の文書など

弥栄の郷は、今月 8 月 1 日で、31 周年を迎えました。

皆様のお陰をもちまして、弥栄の郷も 31 歳となりました。これまで、沢山のご支援を頂き、ここまでやってこれたのだとつくづく感じております。

そんな中、これまで、数多くの出会いや別れがあり、色んな出来事もございました。ここ数年は、いまだかつて耳にしたことのなかった、【新型コロナウイルス】という悪魔が出現してからというもの、何気ない日常が奪われ、当たり前が当たり前で無くなってしまいました。職員の中には、かつて、ご家族様や、ボランティアの皆様が、さほど制限もなく、館内に入出入りされ、入居者の皆様との楽しい時間を共有していた事すら知らない者も存在しております。更には、他部署の職員同士の話で言うと、マスクを外した顔をお互いに知らないという状況もままれております。

“マスク美人” “マスクイケメン” なんていう言葉も、今や、当たり前ですかね・・・。

この先も、介護保険の改正や、憲法の改正など、何が起きるか分かりませんが、弥栄の郷と致しましては、これからも、信頼を置いて頂ける“生活の場”として、職員一丸となって取り組んで参ります。

次ページは、新型コロナウイルス関連について記載しております。ご一読頂ければ幸いです。

(新型コロナウイルスワクチン4回目接種について)

70%弱の方が、7月中旬に接種完了しております。又、4回目接種の対象者に「医療従事者・高齢者施設等の従事者」が追加された事により、弥栄の郷では、8/1より、接種希望職員に対し、4回目接種を開始する運びとなりました。

ワクチン：入居者の皆様（原則、ファイザー社ワクチン）職員：武田/モデルナ社ワクチン

(感染予防対策)

- ・職員につきましては、3日に1回の抗原定性検査（鼻腔ぬぐい液）を継続中。
就業前の職員に対し、感染の可能性を確認する非常に有用な機会となっています。
- ・入居者皆様と直接関わる際
マスク、フェイスシールド、手袋等を着用しています。今までは、必要時のみ、フェイスシールドを着用しておりましたが、世の中の急速な感染拡大を受け、随時、着用に変更しました。
- ・食事、入浴、排せつ
食事については、可能な範囲で距離を確保しておりますが、正直、今までと大きな変化はございません。入浴については、シャワー浴をメインで対応させて頂く予定です。（浴槽へ浸かる楽しみをお持ちの方へは浸かって頂く）排泄については、大きな変化はありません。
- ・発熱などへの対応
発熱時はDrへの連絡後、抗原検査の実施、必要時には、居室でのカーテン隔離、ご家族様、後見人様への連絡、受診や救急搬送等の対応をさせて頂く流れとなっております。
(Drの指示は状況や状態によって変化します。)
- ・訪問歯科や理美容
どちらも生活に欠かせない大切なものである事から、入館前の抗原検査実施後、陰性確認の場合のみ入館頂く流れとなっています。
- ・その他、新規ショートステイやデイサービスご利用者の受け入れに際して、状況をみながら専門職種で協議するなど、随時、必要時に対応出来るよう努めております。

◆陽性反応が出た場合

入居者の皆様の場合

- ・Drへ報告、連絡、相談を行い、指示に従う（協議） 緊急感染症対策会議の開催
 - ・ご家族様、後見人様をはじめ、保健所、行政への報告、連絡、相談
 - ・静養室や個室での隔離、状況によっては、4人部屋でのカーテン隔離
感染者が多数発生の場合、感染拡大防止のためのゾーニング
(ゾーニング：感染しているエリア、していないエリアを区分し、明確化すること)
 - ・ショートステイの受け入れ中止
 - ・その他、食事、入浴、排せつなどの対応の検討
- ※有事の際は、優先順位をつけ、必要不可欠なものから実施させて頂きます。

◆職員の場合

- ・ Dr、保健所、行政への報告、連絡、相談
- ・ 当日、及び2日前に接触した可能性のある入居者様や職員の洗い出し
- ・ 換気など、環境面の検証、及び消毒作業
- ・ その他

- ◇有症状で発症した場合、発症日の翌日から10日間の療養。但し、8~10日目に37.5度以上の発熱や激しい咳、解熱剤の内服があった場合はその症状が治まってから「丸3日間」療養期間が延長となります。
- ・ 無症状であるが陽性となった場合、検体採取日の翌日から7日間療養となります。

7月22日付けで厚生労働省より、濃厚接触者の待機期間を7日間から5日間に短縮し、高齢者施設職員については、検査を行うことで、最短3日で待機解除すると通達がありました。

* 下図の茨木保健所様作成文書をご覧ください。(一部引用)

濃厚接触者になったら…【濃厚接触者の自宅待機期間は5日間です】



<待機期間の短縮について>

待機期間の2日目及び3日目の両日に、薬事承認された抗原検査キットで陰性が確認された場合、3日目の陰性確認後から待機期間を短縮することができます。

待機期間の短縮のための検査は、自己の負担で行い、保健所への連絡は不要です。



【医療機関/高齢者施設/障がい児者施設/学校・児童関連施設等の職員について】

濃厚接触者の職員に対する緊急的な対応として、次の要件を全て満たす限りにおいて、業務に従事することが可能です(不要不急の外出に当たらない)

【要件】

- 他者による代替が困難な職員であり、ワクチンを追加接種済みで接種後14日経過していること
- 無症状であり、毎日業務前に核酸検出検査又は抗原定量検査(当該検査による実施が困難な場合は、抗原定性検査キット)により検査を行い、陰性が確認されていること
- 濃厚接触者である当該職員の業務を、施設長、園長及び校長等の管理者が了解していること

※否定は致しませんが、経験談として、短縮された3日は不安が残ります。実際に、4.5日目に陽性の場合もありましたので、弥栄の郷では、有事以外、短縮は考えておりません。

仮に弥栄の郷で感染が確認された場合、入居者の皆様から発症する事は、現実的には考えにくく、あるとしても、僅か数パーセントの確率と思われます。（通院や、入退院の際等）それ以外で考えられるのは、職員、若しくは、ショートステイのご利用者からの持ち込みが主な原因となるのではないかと推測致します。勿論、そうならぬよう、対策を講じておりますが、ここまで近づいてくると、何をどうすれば防止出来るのか分からなくなってきております。

囑託医から常に発信されておりますが、弥栄の郷のような従来型（4人部屋が多い）の場合、お一人でも感染すると、クラスターが発生する事は、想像に難しくなく、十分な注意が必要です。私たちも、それを理解しているつもりではありますが、本当に理解しているのか？と問われれば、どう答えれば良いか悩んでしまいます。

現状、感染していないので何とも言い難いですが、日常の中で、防護服を身に纏い、マスク、フェイスシールド、手袋という重装備で介護をするのは違うのではないかと考えたりもします。

そういった観点から、出来る範囲（必要な範囲）での対策を実施しながら、コロナ禍を乗り切っていく所存でございます。

皆様におかれましても、まだまだ、気が抜けない状況となっておりますので、くれぐれもお気をつけ頂き、お過ごし頂ければ幸いです。

ご面会などの対応につきましても、引き続き、慎重に対応させて頂く必要性がございます。大変、申し訳ございませんが、原則、予約制（日曜日のみ）、網戸越し面会を続行させて頂く事となりますので、ご理解と、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2022年7月25日

社会福祉法人 大阪水上隣保館

特別養護老人ホーム 弥栄の郷

統括 赤木